

## ノウフクレンケイ 農福連携って？

障がいがある人をはじめとする多様な人が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組みです。担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もあります。全国各地で様々な形での取組が行われています。



## ノウフクレンケイ 中播磨での農福連携事業

2025年度に農福連携マッチング事業を始めるまえにも、地域の農業者へ作業を請け負っていた福祉事業所の活動がいくつかあり、収穫や草取りなどの屋外作業から、商品（野菜）の梱包や商品整理など屋内での作業もあります。今事業でも、マッチングサイトに登録いただくと、登録している実際の作業を動画や写真で見ることができ、作業の内容を把握してからエントリーすることができます。まずは動画を見たり、見学会へ参加など軽いものから始めてみてください。

## よくある質問

分からないことがあれば、下記QRからご連絡下さい

**Q.** ユニバーサル農園見学会や体験会、講演会などの各種事業は福祉関係者でなくても参加できますか？

**A.** はい、どなたでも参加可能です。現在は福祉事業所の方やひきこもりの方が利用されてますので、一緒に体験できる気持ちを持って接していただける方ならどなたでもご参加いただけます。

**Q.** 実施される各種イベントなどは、どこを見れば情報を知ることができますか？

**A.** 中播磨ノウフクプロジェクトのサイトから見ていただけるほか、月に1回発行している広報誌「GOKOKU 県民だより兵庫」でも情報を掲載していきますので、気になるイベントがあればぜひご参加ください。

## お問い合わせ・ご連絡はこちらまで

中播磨県民センター  
中播磨健康福祉事務所 企画課  
電話：079-281-9205 FAX：079-224-3037  
Eメール：NKharimakf@pref.hyogo.lg.jp

県民センター  
WEBサイト



中播磨県民センター  
姫路農林水産振興事務所 農政振興課  
電話：079-281-9285  
Eメール：himejinourinsuisan@pref.hyogo.lg.jp

ノウフク  
プロジェクト



## 農業と福祉で手をつなごう



ノウ フク  
農福連携  
2025-2027年度

マッチング  
はじまっています!



一年を通じてこんなことをやってきました！

## マッチングサイト利用の流れ



農業者の方はこちら

- 1 募集作業を登録
- 2 打ち合せ
- 3 作業日当日



当日の利用者さんへの作業内容は  
福祉事業所の支援員さんから伝えていただきます！



福祉事業所の方はこちら

- 1 募集中の農作業から応募
- 2 打ち合せ
- 3 作業日当日



見学会や体験会は、福祉事業所以外の  
個人の方からでもご参加いただけます。

なかほりま  
**中播磨** ノウ フク  
**農福連携事業**  
2025年度  
(2025.4.1~2026.3.31)

### ユニバーサル農園体験見学会

福崎町と姫路市の2カ所の畑で、ユニバーサル農園体験見学会を開催。福祉作業所の利用者や引きこもりの方、身体障がいのある方など、誰にでも農作業を体験いただく機会を生み出していきます。

### 農福マルシェの開催

2025年11月に二日間開催された姫路市農林漁業祭にて、「農福マルシェ」ブースを展開。両日で14組の福祉事業所や福祉に関連のある農業者のみなさんに出店いただきました。

### 講演会・意見交換会

農福連携を会社事業で実践されている徳島県の「情熱カンパニー」三木代表を講師にお呼びして、講演会を開催。講師と地元農家さん、福祉作業所さんたちの農福連携意見交換会も同時開催しました。

### 農福事業視察バスツアー

農福事業をすでに地域で実践されている京都の「しんやさい」と大阪の「さんさんグリーン」を訪問。中播磨で実践していく連携事業の理想像が見えた視察でした。

### 商品開発研修会

六次産業化などで専門的なアドバイスをされている講師をお迎えし、地域の農業者と福祉事業者と一緒に生み出せる「商品」を考える研修会です。2026・2027年度も継続して実施予定です。

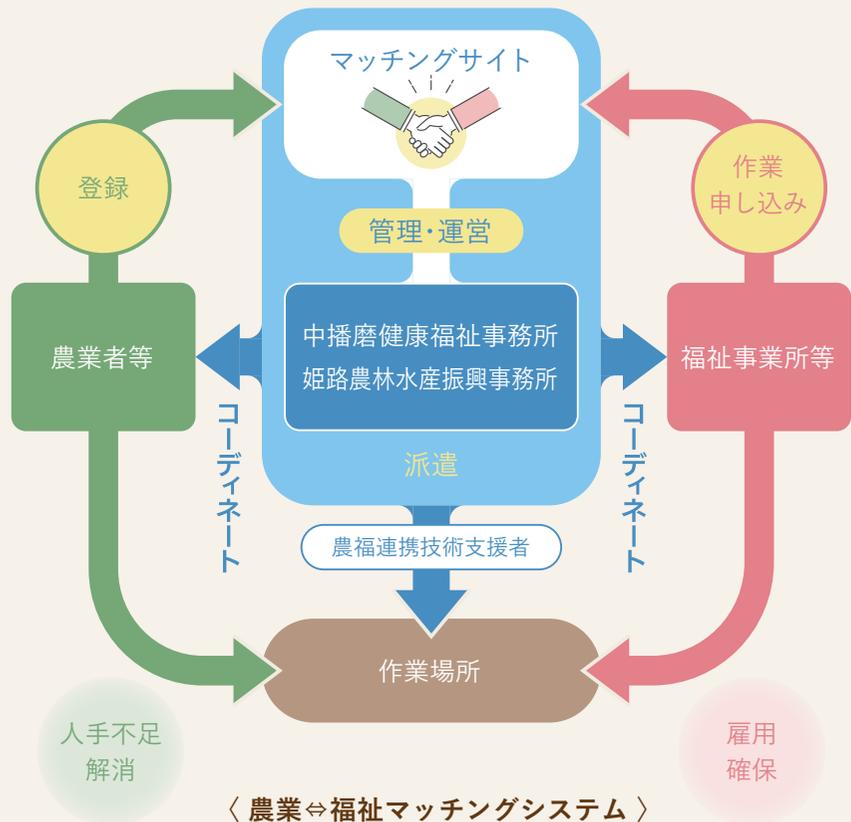
### ノウハウワクワク体験見学会

福祉事業所のみなさんに、地域の農業者の畑に来てもらい、気軽に見学・体験いただける機会を設けます。まずは福祉と農業の当事者の相互理解からはじめる企画です。



### 農福連携事業の運営/ 中播磨農福連携協議会

姫路市・福崎町・市川町・神河町の各市町の関連部署、福祉事業所や農業者などから構成される事業を運営する協議会です。農福連携技術支援者のサポートを受けながら、今後もマッチング事業の強化をはじめ福祉と農業の相互理解が生まれるように各種事業を実施・運営していきます。



〈 農業⇔福祉マッチングシステム 〉